

令和7年度 中間評価結果

| | |
|------------------|--|
| 共同利用・共同研究拠点名 | 光学赤外線天文学研究拠点 |
| 大学等名 (研究施設名) | 兵庫県立大学（自然・環境科学研究所天文科学センター） |
| 評価区分 (中間評価結果) | A |
| 評価コメント | <p>本拠点は、「なゆた望遠鏡」で多種多様な観測を実行し、世界的にも独創的な研究成果を挙げることを第一の目的とし、また、研究観測や装置開発を共同で行うことにより全国の大学における学生教育にも大きく貢献することを第二の目的として拠点活動を実施している。拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティへの貢献もあり、今後も、共同利用・共同研究拠点を通じた成果や効果が期待される。</p> <p>公募制による多くの共同利用観測を毎年度実施し、論文等の学術的成果も一定数挙げている。また、望遠鏡施設を持たない大学に所属する学生に向けた観測実習、公募観測やワークショップの開催等を通じて国内での学部・大学院教育に貢献している。一方、常勤・非常勤職員が少数であり個々の負担が大きいことには改善の余地がある。</p> <p>今後は、自動観測化の着実な実施や、大学間連携事業のネットワークの活用等、研究職員の負担の軽減や拠点の持続可能な運営体制の構築が期待される。</p> |